



有料職業紹介 つしま紹介所 (0567) 26-1281
 訪問介護 ナイス・ケア (0567) 26-3699
 通所介護 ナイス・デイ (0567) 26-1282
 宅老&託児 ナイス・ホーム (0567) 26-1282
 E-mail info@s-o-s.co.jp
 ホームページ http://www.s-o-s.co.jp
 (有)サポート・ワン・サービス 愛知県津島市愛宕町4-113 〒496-0036
 代表TEL:(0567)26-3921/FAX:(0567)26-3922

vol.64(平成17年12月09日発行)



12月4日(日曜日)
 利用者の方々と一緒に、クリスマスツリーを飾りました。
 「毎年、飾ってあるのは知っていたけど、飾り付けを見るのは初めてだな。こうやって飾ってたんだ。案外大変そうだね。」と、言いながら、眺めていた方にも手伝っていただいて、今年は共同作業で立派なツリーを完成させることができました。



12月1日(木曜日)
 稲沢にある矢合観音へお出掛けです。
 2005年もあと少し、家族や周囲の人達が皆無事に年を越せますように...と願いを込めます。

テーブルの真ん中にホットプレートを“で～ん”と置いて、昼食に お好み焼き 1回目の具材はキャベツと豚肉と玉子、2回目は人参の葉とウインナーと玉子。大家族のように、焼けた分を皆で分けて食べました。焼きながら食べるのはとってもおいしく、全部売り切れ。食後のデザートに、柔らか～い柿をむき、「おいしいねえ～」と言いながら、皆、つつい食べ過ぎちゃった!

ナイス・デイ利用状況(定期利用者数)

月	火	水	木	金	土	日
10名	9名	10名	8名	9名	9名	10名

「 ナイスな勉強会...」 続：ヘルパーにもできる(?)医療行為



血圧測定

法律で許可された血圧測定は、水銀タイプのものではなく自動血圧計です。しかし、今回は看護師の指導のもと、血圧測定とはどういうものなのかを知るためにも水銀タイプの血圧計を使用して練習しました。基本は、左腕(麻痺のある方は健側)、心臓の高さ、腕は真っすぐの状態で測定しましょう。



点眼

目の特徴は“目頭よりも目尻のほうが鈍感!”
 この特性を生かして、目薬を点すときは、目尻にポチョーンと一滴落とす。そうすると、あまり刺激を感じなくていいのです。
 ただし...、(写真のように)真上を向いているとそのまま流れていってしまうので、必ず、目頭に向かって目薬が流れるように顔を少し斜めにしてください。

体温測定

健康な人でも、風邪をひいたとき等には計るはず。体温測定も基本は左腕(腋の下)で計ります。下から斜め45度くらいの角度で、汗を拭き取り、腋のくぼみの一番奥へ体温計の先を当てて“じゅー”っとしていること。



私のおかあさん ~ 最終章 ~

注:このコーナーに掲載される話はスタッフの家族の実話です。

私は、数年前に50歳になった
 今まで、自分自身の家族を守るための生活に追われてきた。幸せなことに、健康に恵まれていたため、正直に言えば、この仕事(ヘルパー)に就いていても、自分の周りの人に介護が必要になるなんて想像もなかった。まあ、少々気になったことがあったときでも、二の次にしていた程度だった。

私の親達の世代は、一生懸命家を守り、跡を継ぎ、名を残した。また、介護が必要になった人の世話をすることは、大きな負担でも家族の役割だったはず。

今は、介護保険ができ、社会的なサポートも得られるようになっている。
 介護保険のサービスを上手に利用できれば、自宅で介護する家族の負担は軽くなるはずなのに、おかあさんの主の介護者である妹にかかる負担を考えると、いざ妹夫婦との同居が難しくなったときは、誰がおかあさんの世話をできるのだろうか、すぐに施設へ入れるのだろうか...と不安になっていた。

そんな風に、おかあさんのことを考え、同居家族に介護が必要になったら大変なんだろうとおぼろげに感じ始めた矢先、同居の義父の状態に変化があった。

認知症のため、義母との関係も上手く取れなくなり、入院。
 今年の夏、退院の話がでた。家族で相談したとき、本来なら、介護サービスを利用することで、自宅に戻って生活することができそうだが、家族の精神的・肉体的負担を考えると、その方法は選択できないと考え、結果、施設へ入ることになっていた。しかし、先月、義父は肺炎にかかり、あっという間に他界してしまった。

あの時、家族の介護を抱えることが、どれだけ大変なことなのかを想像しただけに終わったが、これから先の人生、いつ、誰が、突然介護を必要とする状態になるかは分からない。後で悔やむことが無いように、自分出来る手助けを精一杯したい、気持ちよく介護してあげたいと考える私になっている。

一方、年老いても、出来ることは自分でやってもらったほうがいい。ということも学んだ。
 冷たいように見えるかもしれないが、見てみぬ振りしていることも沢山あるから、そのつもりでね、おかあさん!

ナイスな手作業 ~ 試行錯誤 ~

調理担当になるスタッフが、自分が好きなピピンバを「デイの利用者さんにも食べてもらいたいから、工夫して作ってみる!!」と、試作を何度か行い、他のスタッフに感想を聞きながら、利用者さんに食べやすいようなピピンバ丼が完成しました。



年末のご挨拶

今年は、冬がくるのだろうか...という気持ちでございましたが、でも、やっぱり冬になりましたね。今年一年を振り返り、昨年からの変化といえば、宅老所を利用される方(特にお泊りの利用)が定着してきたことが一番にあげられます。

訪問介護や通所介護は、入退院などの利用休止後も、継続して利用して下さる方が増え、地域の中での結びつきが深まってきたように感じます。

様々な福祉ニーズを抱える利用者さんを軸に、家族の方々と二人三脚で歩んできていることを実感し、この地域での当社の役割も見えてきたような気がいたします。

当社が、世間から必要とされる役割を持ち続けられるよう、今後も、スタッフと共に、心して仕事に励みたいと思います。

この一年、当社を見守り、また、お付き合い下さった方々に、深く感謝致します。

取締役 飯尾 淑子